

かみや俊宏 とし ひろ



38才

地域の声を区政に届けます!

1 地域活動に参加しています!

町会、パパ会、消防団、地区委員会、防犯協会青年部、東京青年会議所等の活動に参加し、区政に活かしたい課題を見つけています。
ご意見やご要望などはいつでもご連絡ください。



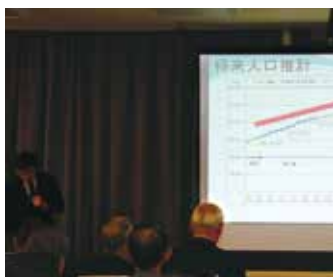
2 街頭活動をつづけています!

引き続き、駅前、スーパーの前、交差点等どこかの街角にいます。初当選の日である毎月21日は「街頭活動day」です。いつもより長い時間立っています。
区政に関するどんなことでも構いません。是非、お気軽に声をかけてください。



3 区政報告会を開催しました!

100名を超える皆様にお越し頂きました。山本泰人中央区長、自民党広報本部長・平沢勝栄衆議院議員、辻清人衆議院議員はじめご来賓の皆様から身に残るお言葉を頂戴しました。
地域の声を区政に届けるべく全力で活動します。



*レポート不要の場合、お手数ですがご連絡頂けますと幸いです。

*区民の皆様との双方向のコミュニケーションを行い、皆様の声を区政に反映していきたいと考えています。
区政やレポートに関するご意見・ご質問、お待ちしております。

1981年 中央区(日本橋浜町の北井医院)生まれ
親子三代久松小卒 早実中高卒

2004年 早大政経学部卒 (株)伊勢丹入社

2007年 東京都職員

2017年 衆議院議員平沢勝栄秘書

2019年 初当選

家族 妻・息子(2017年生まれ)共働きで子育て真っ最中!

所属委員会・附属機関

区民文教委員会
築地等地域活性化対策特別委員会
青少年問題協議会

自民党

中央区総支部 事務局次長
中央区総支部 副企画広報委員長
中央区第二十支部支部長

かみや俊宏事務所

〒103-0007 中央区日本橋浜町2-19-3
Mail:kamiya.chuokugikai@gmail.com
WEB:kamiya-toshihiro.com

区議会控室

〒104-8404 中央区築地1-1-1



1 子どもたち(小学生)の運動環境の充実に提案!

教育長答弁(概要)

- 全般的に生徒が増えていて、相当校庭が狭いというのが現実的な問題だと思っています。運動会、学校によっては保護者の方の出入りを工夫しないと全員に見ていただくスペースがない。
- 例えば、場所を変えたらどうなのかということも、率直に校長と話しております。場所を変えるのはなかなか単純ではない。運動会はさまざまな演技とか、低学年は、例えば自分が立つポジションがどこなのかとか、日ごろからの練習が重要。
- ただ、学校でこのまま全部やれるかが今後の大きな課題。変えることも想定しながら、運動会のあり方を教育委員会も考えていくというのがこれからの課題と考えています。

質問の背景

- 地域の方から「校庭が狭い」、「広いグラウンドで運動会を行いたい」等のご意見を多く伺いました。
- 調査を進めると、学校側も限られたスペースで工夫しながら子どもたちの運動環境の提供に努力していることがわかりました。
- 一方で、急増する人口と容易には増改築することのできない学校・グラウンド環境について、今後どのような対策ができるのか議論が必要であるとの認識に基づき質問を行いました。

2 地域振興・コミュニティ活動への支援強化を提案!

地域振興課長答弁(概要)

- 町会・自治会の皆さんから何よりも何うのは、担い手が不足しているという人的な支援についてが大変多くなっている。
- 今回、共同提案事業の一つの中で、PTA世代の方々が地域コミュニティにかかわるきっかけづくりを行っていく事業の提案を頂いた。
- これまで町会・自治会にかかわりの薄かったPTA世代、まさに今、中央区において転入される方々の主要な世代層の方々が、地域コミュニティに関わるきっかけづくりとなり得るものであると考える。こういった事業を町会・自治会の皆さんと綿密に連絡をとりながら行っていく。

質問の背景

- 中央区は町会・自治会などが行う地域でのイベントや盆おどりの経費補助、情報誌の発行、中央区町会自治会ネットの開設等の支援を行っています。
- しかし、地域活動の核である既存コミュニティも共働き世帯の増加や働き方の多様化などで新たな担い手不足という課題に直面しています。
- これまで以上に参加しやすい雰囲気をつくる工夫を行うとともに、さらなる地域コミュニティへの支援が必要であるとの認識に基づき質問を行いました。

3 税金を効率的に使うことを提案!

提案① 区民費・都市整備費で更なる減額補正をすれば、基金の上積みができたのでは?

財政課長答弁(概要)

- 決算を振り返れば、確かにさらなる減額あるいはその減額による基金の積み立てということが、最終的には今後の財政需要にもしっかり対応できるという観点では、もう少し基金に積み立てるという対応ができた。

質問の背景

- 減額補正を行うと財政所管部局から各事業部に配当しているお金を財政所管部局に返却することができ、そのお金を「預金する」、「債権を購入する」などの運用も可能になると考えます。
- 減額補正を通じた財政への貢献が必要との視点から質問を行いました。

提案② 補助金の支払方法を変更すれば手元現金を確保できて財政に寄与できるのでは?

副区長答弁(概要)

- 今後を考えた場合、そういった整理ができるかが重要だと思う。性質別の事業を整理させていただきながら、質問の趣旨に従う調整を今後させていただきます。

質問の背景

- 年度当初に概算払い一括して支払いを行っている一部の補助金は、支払を4半期に一度とすることで区が手元に現金を確保することができると思います。

かみやの考え方

「ペイ・アズ・ユー・ゴー」という考え方があります。これは、行政が新たな事業や減税を行う際、必要となる財源も一緒に提案しようという考え方です。米国において財政再建に効果を発揮したと言われており、効果的な行財政運営に重要な視点であると考え、決算特別委員会において財政面からの質問を行いました。